

令和3年度北播磨採択地区協議会 議事録

- と き 令和3年7月5日（月）10：00～11：30
- ところ 加西市立総合教育センター
- 出席者 北播磨採択地区協議会委員10人、事務局3人

【次第】

- 1 開会
- 2 教科調査員会等報告及び協議
- 3 閉会

1 開会あいさつ

加西市教育長

2 教科調査員会等報告及び協議

教科書展示会場アンケートについて

事務局から教科書展示会場アンケートの内容について報告した。

教科用図書調査研究の報告について

（発行者名は、文部科学省が作成した「中学校用教科書目録」による略称を使用している。）

【社会】

ア 代表調査員の報告

- ・調査員 6名 調査研究2回実施。
- ・報告内容 教科用図書調査研究報告書のとおり。

イ 代表調査員への質疑

（委員） 自由社の報告書の知識及び技能が習得できるための工夫欄にある中学生には必要とされない難解な用語とは具体的にどこか。

（代表調査員） 240頁に出てくる『大東亜共同宣言』という用語は、中学生の学習では必要とされない用語である。解説があるがそれでも中学生が学ぶには難解であり、その背景をきちんと説明しなければ理解できないと考え

られる。こういった箇所が複数見受けられる。

(委員) 教科書ごとに発行者の方の世界観が色濃く反映されるものだと感じる。第二次世界大戦一つとっても取り上げられ方が大きく違う。

(委員) 先ほどの自由社の例の内容について、日文で相当する箇所はどこか。

(代表調査員) 248、249 頁が該当する。

(各委員) かなり内容が違う。

(委員) 自由社の 241 頁にインドネシアの人々のエピソードがある。日本軍がインドネシアの独立の基礎となる改革を行ったことからインドネシアの人々の対日感情が良いという内容であるが、こういった自虐だけでなく世界の中で日本がプラスに評価される歴史に関する内容は日文にもあるのか。

(代表調査員) 第二次世界大戦の頁ではないが、日本が行ってきた政治や国家運営がアジア諸国にどのような影響を与えたかについての客観的な記載がある。215 頁のエルトゥールル号の遭難事件の話や、229 頁の三・一独立運動の際の日本人の中の多様な視点、247 頁の杉原千畝の話などがある。自由社のような記載内容ではないが、世界的な視点でみた時に日本がどのように見られていたのかということをも日文の教科書でも学ぶことができる。

(委員) 自由社の報告書の表記・表現の欄の思考を誘導するような記述がみられるというのは具体的にどこか。

(代表調査員) 自由社の 79 頁。モンゴル帝国と鎌倉時代の元寇について記載されている頁で、本来であればフビライの国書の意図に対し、子どもたちがどのような印象を持つのか、また当時の執権であった北条時宗が行った判断はどうだったかについて思考させる箇所であるが、文中のキャラクターが既に意見を交わし一面的な内容が掲載されている。多様な考え方を子どもたちから引き出すのが難しくなっている。

<代表調査員の退出>

(委員) 何か意見などあるか。

(委員) 第二次世界大戦に関する記述について、自由社は 28 頁、日文は 22 頁を割いている。自由社は分量が多く力が入っているのがわかる。自由社は日本の視点で東アジアや東南アジアの歴史を捉えている。報告書にもあるとおり為政者の視点で書かれているというのは、自由社の特徴であると感じる。教科書の特色というか、発行者の思いが出ていると考えられる。日文は世界の流れの中での日本の立ち位置という視点

を持って書かれている。世界の中で様々な文化を認め合うことを求められるこれからの時代に、客観的に歴史を理解し、特に地政学的に学べる教科書である。多様性の考え方を育める内容の教科書になっている。

(委員) 社会科の担当として。我が国の文化や伝統、アイデンティティーの形成といった内容も学習指導要領に入っている。そういう意味では、自由社も評価できる部分がある。一方で特に世界大戦を中心に、意見や評価が分かれるような内容について、一方のみの視点からかかっているのは気になる。これまで社会の学習は知識の羅列が多かった。その中でできるだけ子どもたちと対話的に学習を進めることを考えると、指導者にとって子どもたちにどのような問いかけをするかというのが難しい点である。現在採択されている日文との比較を考えることになるが、日文は、『学習課題』や『深めよう』の項目で問いかけを示したり、単元末では再度考える視点を示したりと工夫がある。指導のしやすさ、子どもたちの使いやすさを考えると日文の方がふさわしいと思う。

(委員) 自由社と現在採用されている日文の報告書を比較すると、それぞれ良い部分と悪い部分書かれている。それぞれの項目ごとに比較することで評価しやすくなるのではないか。この報告だけを見ると日文になる。

(事務局) 調査員は、そういった比較について、わかりやすいように報告書を昨年度分に加筆している。

ウ 選定

社会（歴史的分野）

協議会規約第11条により、協議の結果、全会一致で社会（歴史的分野）は日文を選定することとする。

3 閉会